

# KBI NEWS



〒630-0266  
 奈良県生駒市門前町 22-1  
 TEL: 0743-70-8600  
 FAX: 0743-70-8601  
 編集・発行人: 大田裕作  
 郵便振替: 01140-6-67708  
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453  
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp  
 ホームページ: <http://www.kbiwave.com>

## イエスに出会う バイブル・トーク

浜崎英一師

元大津バプテスト教会牧師  
 枚方家の教会牧師

四十年余り仕えさせて頂いた教会を退職する前後に、色々な人に聞かれました。「退職した後、何をされるのですか」私は社会で働いた経験もなく、牧師しかやったことがないので、「そうですね。孤独な牧師の話し相手をします」と言っていました。今、そのように導かれていることを主に感謝しています。

教会とは何なのか。教会の頭、オーナーは誰なのか。その方は教会に対してどういう思いや考えを持っておられ、どういう使命を与えておられるのか。教会に何かの問題が起こったり、教会が行き詰まったりする時だけではなく、教会全体がブレることなくシンプルに、このことを明確にし、一致していかなくてはならないと思われています。

このことと関連して、退職後、集中して取り組んでいる一つのことがあります。いつでも、どこに行ってもこの話をしていきます。今は、スカイプやラインで七つほどのグループがあります。すべてこれをやっています。このことに共感してくださる近隣の三、四つの教会にも関わっています。牧師会などに呼ばれても、すべてこの話をしていきます。KBIでも学生たちにこのことを分かち合ってきました。

また、三年余りNPO法人のグループ・ホームに入っている方々にもこの話をする機会が与えられています。そして、何より感謝なことは、回を重ねるほどにわたし自身が主イエスと新しく出会い、多くの感動を経験させて頂いていることです。



一言で言えば、それは主によって導かれてきた「イエスに出会うバイブル・トーク」です。グループで聖書のストーリーと一緒に向き合い、お互いに向き合い、そしてイエスに出会うことを目指していく、楽しい自己発見型の学びです。これは主イエスから与えられている教会の使命の一端を担うことも目指しており、未信者への伝道のため、信徒訓練のため、そして互いに愛し合う共同体形成のための一つのツールとして有効であるという思いをいよいよ強くしています。

# 卒業生の証・論文タイトル・派遣先

大塚 マリ



この三年間、アメリカと日本を十回往復しながら、両国の文化・風土・民族の違いをはっきりと知る事ができました。様々な人との出会いの中で、自分どちらの国で働き人としてやっていくように召されているのだろうか、との問いがいつもありました。若い方々、先生方と共に生活しながら学べたことを感謝しています。講師の先生方の謙遜さと配慮に心打たれ、至らない自分を省みつつ、これから主が開いてくださる道をまっすぐに主と共に歩んでいきます。

**論文タイトル**

カール・バルトと説教

派遣先 ロサンゼルス合同教会

小崎 恵

この三年間、母教会をはじめ、先生方やスタッフの方々のお祈りと励ましに支えられて、学ばせて頂いたことに感謝致します。ただ恵みによって生かされ、愛されているということ、十字架に安息すること、聖霊様が共に働いてくださることを、学びや日常生活を通じて深められた学院生活でした。

世界宣教という神様の大きなビジョンを抱きつつ、置かれた場所で日々神様の奇跡を体験しながら歩んでいきたいです。

**論文タイトル**

発達凸凹と教会ー発達障害の現時点での社会的理解と考察、教会での取り組みを目指してー  
派遣先 関西カルバリーフェローシップ



紙野 雄平



「KBIの学びで何を期待するか？」一年生の時、祈禱会で出た質問に「出会い・人格形成・主の導き」の三点を書いた。三年間を振り返り、確かにこの三つの期待に主は答えてくださった。特に人格形成において、共同生活や自分の弱さ、試練を通して訓練された。試練を通る度、最初の召命に立ち返らされ、再献身へと導かれた。変わらない召命を握らされた。こんな欠けだらけの器を用いてくださる主と、忍耐をもって育てて下さったKBIに感謝！

**論文タイトル**

公会主義く日本最初のプロテスタント教会が掲げた理念

派遣先 未定

河村 シオン

この三年間、無駄なものは何一つ無く、全てが主の恵みであり、主が素晴らしいと言うほかありません。何より感謝なことは、何かができるようになってKBIを出て行くのでなく、「何もできない私を主が持ち運んでくださる」その信仰が確信として与えられ派遣されて行くことです。主に委ね、信頼し、主の成し遂げてくださる道を歩ませて頂きたいと心から願われます。主に、また祈り支えてくださった皆さんに心から感謝します。

**論文タイトル**

『日本福音教会』くこれまでの歩み

派遣先 南大阪福音教会



佐々木 望



この三年間、自分について教えられ、主が私にしてくださいました十字架の贖いの大きさと力を体験しました。人に良く見られたい思い、愛せない思い、心の汚さ、無力な自分を見せられました。しかし、主は、十字架の贖いイエス様が流された血潮によって私は赦されていますということをお教えてくださいました。共に学んでいる仲間からも多くのことを教えてもらい、ここで学べたことを感謝しています。これからも、ただ主のために最後まで歩み続けたいです。

論文タイトル

ユースミニストリーユースの成熟と弟子訓練

派遣先 エブリネイションチャーチ札幌

竹内 史子

一年生の時に、Iペテロ二章五節「あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。」のみことばを頂いて、献身の道へ一歩踏み出しました。自分の罪を知ることから始まったKBIの中で「神様は喜んで下さっているのだろうか」と問いながら歩んできました。何の力もない、こんな私を主は喜んで福音宣教のために呼んでくださいました。これからも、主が喜ばれる歩みをしていきたいです。

論文タイトル

占いと聖書の預言の相違  
派遣先 箕面福音教会



山下 裕平



KBIで教えられたことは、主の素晴らしさと、主が置いて下さった立場に対する従順です。入学までに身につけた能力を土台として、献身の道を歩もうとしていた一年目。一からの訓練に耐えながらも、置かれている立場に納得できなかつた二年目。主が与えてくださった立場に従順になり、少しずつ喜んで仕えることができるようになった三年目。これからも主の恵みである十字架を土台とし、与えられた召しと立場に従って、主からの使命に命懸けで仕えていきます。

論文タイトル

自然に成長する教会

派遣先 堺シオン福音教会

修了生 (二月二十日現在)

- 本科コース 二年修了
- 佐藤環 (湘南グレースチャペル)
- 伏井奈穂子 (南大阪福音教会)
- 本科コース 一年修了
- 荒川朱香 (峰町キリスト教会)
- 水谷香 (千代田福音教会)
- CPRCコース

(教会開拓・刷新コース)

- 清水孝弘 (荒野教会)
- 藤原登 (草津キリスト教会)
- 森田繁雄 (雲井キリスト福音教会)
- 桐島幸子 (奈良佐保キリスト教会)
- 永田厚子 (南大阪福音教会)





ホーチミンにある教会



ベトナムは旧正月でした

# 3年生アウトリーチ



## Go into ベトナム 2/14~2/23



ベトナム到着!

関西聖書学院三年 佐々木 望

私たち三年生七名とジャン・ドウゲン先生は、二月十四日から二十三日まで、ベトナムへ行きました。

KBIのアウトリーチとしては、初めて訪問する国です。今回は、ベトナムを北へ向かって一周する形で、いくつかの部族の青年たちのグループと交わりの時を持ちました。ベトナムの第二都市ホーチミン、そして、ベトナムの国自体は、宗教の自由を表明しています。しかし、

実際はまだ多くの迫害があることが分かりました。国や地域で力を持っているのは、ほとんどがお金を持っている共産主義者です。「宗教自由」と言うことで、自由に行動させておいて、何かあればすぐに捕まえることができるように泳がせておく仕組みです。教会も、教会員が五十名近くになると、政府の取り締まりが入ります。そのため、教会では、人数が増えると二十名から三十名のセルグループに分かれて公安が入らないよう工夫しています。日本では考えられない境遇の中、知恵を用いて伝えていくことが鍵となることが分かりました。

私たちは、ホーチミンに二日間滞在した後、片道九時間かけて約千キロ移動して、山間部に向かいました。そして、三つの村へ入って行きました。一つの村から隣村に行くのに、さらに六時間ほどかかります。

山間部にある幾つかの部族は、織物や果物、お花などを作り、何時間も離れたホーチミンで売ることで生活しています。クリスチャンになることで部族の中で迫害を受け易い状況になり、益々生活が困難になります。彼らの生活が守られ、信仰が強め

られるようにお祈りください。また、クリスチャンが全くいない部族もあります。彼らにも福音が届けられるようにお祈りください。



山間部の部族



ホーチミンの街の風景

Life@KBI

関西聖書学院一年

荒川 朱香

共同生活を通して、自分の心に余裕がない時や、目の前にあることを早く終わらせたいという自分の欲求がある時には、「一人でやりたい」という思いが沸き上がってくる事を知りました。そんな自分の姿に気づいた時に周囲を見渡すと、誰かが倒れている時には、誰かが手を差し伸べている様子や、私自身も仲間から助けられた経験が多くある事に気づかされました。このことから、一人で進む事は簡単ですが、もつと遠くに進みたいと思うなら、仲間と共に生きる必要があると思わされました。それは、宣教をしていくことにも当てはまると思います。一人では宣教の働きに限界がありますが、仲間が多ければその働きは何倍にもなります。イエス様もいつも弟子達と共に歩んでいました。ですから、私も、仲間と共に宣教の働きへと前進していきたいと思わされています。



KBIの空



授業風景



交わり



礼拝風景



作業風景

Prayer & Fasting

関西聖書学院二年

山崎 琴葉

一月一八日(木)は学院全体の断食祈祷「祈りの日」でした。今回のテーマは「KBIがKBIであるために」。忙しいスケジュールの中で、それぞれが召しの確認、主にある自分らしさを求め、主との深い交わりの時を持つことができました。

一日を通して導かれたのは、詩篇六二篇五〜八節、ゼカリヤ書四章六節のみことばと共に、「私ではなく主の御声を聞く」ことでした。

自らの心と思いを捧げ、主の思いを知ること集中し、聖霊様の導きのままに、みことばを宣言する祈りをつないでいきました。みことばの権威に身を委ねる歩みへのチャレンジになりました。会場全体から「あなたの声を聞かせてください」「主の栄光のために用いてください」という祈りが聞こえてきました。またすべての学生が互いのために手を置いて祈る時間を持つことができました。

三学期は、それぞれの主からの呼びかけに従い、一歩踏み出

す決断の時です。この祈りの日を整えてくださったことを主に感謝します。私たちは主のものです。



# 後輩達に贈る言葉

太田ともえ師

大津キリスト福音教会



共同体みたいなどころがあるよね。」これは、真実です。

ご卒業おめでとうございます。

私が、KBIで頂いた最大の財産は、「兄弟姉妹」だと思っています。私たちは、同じ霊的食物を同じ釜の飯でいただき、「主の御言葉を人々に伝えたい」という同じビジョンに燃え、共に訓練を受けました。ある先生が言われました。「君たちは、ただの同窓生というよりも、どこか運命

私は、二〇〇三年にKBIを卒業し、二〇一〇年からパキスタンで奉仕をさせて頂いています。ルーツも霊的流れも学生の雰囲気も、どこかKBIを思わせる現地の神学校と関わりながら、主には、現地の女性伝道者チームと共に婦人伝道の一端を担っています。現在の働きのフォーカスは、女性の問題です。「女性性は劣った存在だ」と思

い込みがちな文化の中で、「あなたは、神様の目には高価で尊い」と理解してもらいたいと願

い、奮闘する日々です。彼女たちのためにお祈りしていたけると幸いです。

は何よりの喜びです。先日、ある同窓生が奉仕する教会に招いて頂き、次の日には、共に個人的なデボーションの時を持ちました。国内で堅実に奉仕している彼女が、ローマ六章五節を聞いてくれました。「もし私たちが、キリストにつき合

わされて、キリストの死と同じようになっていくのなら、必ずキリストの復活と同じようになるからです。」苦しいところを通りながら伝道してきた彼女の歩みを知る私は、涙しながら、主の十字架の恵みを味わいました。その後、お互いのために祈る時、聖霊が豊かに触れて下さり、深い慰めと励ましを受けました。

私は間もなく、現地に戻り、また宣教の働きに携わっていきます。「十字架と聖霊、そして宣教」のKBIは、今も私たち同窓生の心に流れ続けています。

檜垣正裕師

西宮福音教会牧師

ご卒業おめでとうございます。KBIでの三年間はいかがでしたか。

KBIは私にとって出会うの三年間でした。今も交わりのある同級生たち、先生方との出会い。これまでの働きの中で、この交わりにどれほど助けられたことでしょうか。言葉との出会いもありました。ある先生が「何もできないことがわかれば御の字です」「何もするな」とお話しになった直後に別の先生が「君ら勉強するんやで！」と言われ、いったいどうすればいいのか・・・？また「牧師が一人前になるには二十年かかる」という言葉に「おじいちゃんになっちゃうよ」と思ったものでしたが、今になってやっとそれらの言葉の意味が分かってきたよう

な・・・。卒業生のみならず、成長・成功を焦らないでください。

真理との出会いは宝物のようです。「無い袖は振れぬ」とつぶやいていた者に、「キリストにあり」という真理が開かれたのもKBIでした。今もこの真理はわたしを生かし、動機づけ、励まし続けています。みなさんもそれぞれに開かれた真理が、これからの働きを支えることと思います。



## ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2017.11.22～2018.2.20）（KBIへの直接献金分）

### ■一般会計献金

#### < KBIを支える会 >

個人：黄金井尚美、門谷皖一、斎藤邦夫、兼松道子、山田裕一、伊達山洋子、安野清子、石崎政登、辻村順子、増永弘、岩本美保、前田徳治・祥子、真島義典、井野葉由美、塚原利喜男・真理、熊本直美、秋元清友、前川美恵子、福元玲子、安川真知子、大田裕作、吉田朝彦、安黒務、福澤賛美、山本篤、前田秀文、北野恒久、田井淳子、田中憲昭、森敏、在原繁、福田徹生、渡辺とも子、鶴野英子、豊村善典、酒井哲男、小山大三、大橋良男、高橋昭市、安村元秀、馬場昭・喜久美

教会 & 団体：可見福音教会、狭山福音教会、京都シオンの丘キリスト教会、ゆうあいちゃべる、八尾南福音教会、奈良福音教会、名護チャペル、ヒルズチャーチ、神戸キリスト栄光教会、尾上聖愛教会、千代田福音教会、西可見キリスト教会、高砂教会、鈴鹿キリスト福音教会、旭川神愛キリスト教会、グレイス神戸ミッションチャーチ、西宮福音教会、三国クリスチャンチャペル、シャローム希望教会、IGA 上野福音キリスト教会、峰町キリスト教会、大阪基督生命堂、東京チャペル、ゴスペルチャーチ千里、垂水福音教会、カナンプレイズチャーチ、高槻一麦教会、久留米ベテルキリスト教会、ゴスペルハウス静岡

#### < 運営支援献金 >

##### 1. 支援団体献金

鶴見純福音教会、保土ヶ谷純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、犬山キリスト純福音教会、房総中央キリスト教会、岐阜純福音大森チャーチ、日本福音教会（JEC）、KBI 支援協力会（FCMF 諸教会）、ジャパンベサニーミッション、TPKF イースト、伊勢原聖書キリスト教会

##### 2. 特別献金

個人：牧田吉和、後山慎治

教会 & 団体：ホープチャペル

● **KBI を覚える日献金**：堺シオン福音教会、千代田福音教会、名古屋グレイスキリスト教会、宝塚福音教会、野崎キリスト教会、岬福音教会、小森野キリスト教会、ベタニヤチャペル、敦賀自由キリスト教会、御殿場純福音キリスト教会、富士純福音キリスト教会（上記期間中の到着分）

2017年度の「KBIを覚える日」の献金総額は1,846,470円（55教会）でした。感謝します。

### ■奨学基金献金

個人：芝蓮代、出原市子、上田勇矢、竹川正英、菅原威、森本裕・真美子、宮下真由美、在原繁

教会 & 団体：西可見キリスト教会、堺福音教会、シャローム希望教会、八尾福音教会

### ■建設基金献金

個人：春名裕

教会 & 団体：秦野クリスチャンセンター、伊勢崎神愛キリスト教会、岐阜純福音教会

※ KBI への直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくださっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

# 新入生募集

## 《コースと費用》

- 短期コース [3週間] 70,000円 (授業料、寮費、食費) 締切り: 3月20日  
日程: 4月10日(火) 入学式 ~ 4月28日(土) 修了チャペル  
テーマ「未墾の大地に鋤を振る」  
ゲスト講師: 松岡広和師、近藤由美姉
- 本科コース [1~3年] 入学金 50,000円 660,000円/年 (授業料、寮費、食費)  
締切り: 3月15日
- 教会開拓・刷新コース (CPRC)  
CPRC=Church Planting & Renewal Course の略  
従来からの開拓者伝道養成に加えて、教会再生刷新に取り組まれる方々へのニーズにも対応するコースです。
- 宣教師訓練コース、通信教育コースも募集しています。  
各コース資料請求は、事務所または、ホームページよりお問い合わせ下さい。

電話: 0743-70-8600 FAX: 0743-70-8601  
E-mail: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp  
HP: <http://www.kbiwave.com>

## ●二〇一八年度 行事予定 ●

- 四月一〇日(火) 入学式
- 四月一〇日(火) ~ 二八日(土) 三週間コース
- 四月一七日(火) ~ 一八日(水) CPRCコーススタート
- 六月二八日(木) ~ 七月一日(日) 宣教ウイーク
- 七月六日(金) 一学期終了
- 九月四日(火) 二学期始業
- 一〇月一日(月) ~ 二日(火) 神学校協議会 於: KBI
- 一〇月二日(火) ~ 一〇月五日(金) 前期テスト週
- 一〇月九日(火) ~ 一二日(金) テスト明け リトリート週
- 一一月一〇日(土) ~ 一一日(日) KBIを覚える日
- 一二月六日(木) 二学期終了
- 一月八日(火) 三学期始業
- 二月五日(火) ~ 八日(金) 後期テスト週
- 二月一二日(火) ~ 二二日(木) 三年生アウトリーチ
- 三月七日(木) 卒業派遣式

## ●OB・OG 通信 ●

- 在原繁・津紀子宣教師  
一二月末帰国し、八月まで巡回奉仕をされます。
- 太田ともえ宣教師  
パキスタンの奉仕から帰国中です。四月上旬まで滞在されます。
- 安川圭吾・美穂宣教師ご家族  
三月下旬帰国し、八月半ばまで巡回奉仕をされます。
- ご結婚おめでとうございます。  
二〇一七年一二月九日  
上之園光樹兄と井上真奈姉  
二〇一八年二月一二日  
伊藤康弘兄と金子智恵姉

## ●編集後記 ●

今年度も皆様の祈りと支えを心から感謝致します。KBI ニュースは前号からリニューアルに向けて動き出しました。より良い形で皆様のもとにお届け出来るよう、ニュース委員の間で祈り、知恵を出し合っています。次号からまたニュース委員が入れ替わりますが、引継ぎに知恵が与えられ、さらに充実した形に出来ればと思います。主の導きと支えの中、こうしてKBIニュース3月号を皆様のもとにお届けできたことを感謝します。KBIニュース委員

洪沢・梶川・山崎